

# 第1号議案 令和元年度 事業報告（案）

## ◎賛助会員の加入状況

- R1** ●賛助会員（団体）20団体（令和元年6月17日現在）  
●賛助会員（企業）84企業（令和元年6月17日現在）
- R2** ●賛助会員（団体）20団体（令和2年6月19日現在）  
●賛助会員（企業）87企業（令和2年6月19日現在）

## 1. 会議等の開催

### 1-1 令和元年度拡大常任委員会の開催

- 日 時：令和元年5月24日（金）  
場 所：（一社）北海道開発技術センター  
議 題 ①第19回（令和元年度）通常総会・講演会のスケジュールについて  
②通常総会議案書（案）について  
③小委員会の活動報告案について  
④決算・予算、名簿確認、その他の提案について

### 1-2 令和元年度通常総会の開催

- 日 時：令和元年6月17日（月） 14:30～  
場 所：ホテルマイステイズ札幌アスペン 「アスペンA」  
参加会員数：95名

### 1-3 講演会（通常総会と共催）

- 講演テーマ 「ゼネコンドボジョの働き方を事例に、次なる土木の100年を考える」  
日 時：令和元年6月17日（月） 16:00～  
場 所：ホテルマイステイズ札幌アスペン 「アスペンA」  
講 師：須田久美子 様  
鹿島建設（株）土木管理本部土木企画部 ダイバーシティ・働き方改革担当部長  
参加会員数：105名

### 1-4 「地域建設産業活性化」等に関する意見交換会・講演会

#### 1) 札幌若力会との意見交換会

- 令和元年10月31日、札幌市において、札幌若力会と意見交換会を実施  
日 時 令和元年10月31日 午後3時00分～午後5時30分  
場 所 ホテルポールスター札幌 札幌市中央区北4条西6丁目  
参加人数 札幌若力会 15名 建マネ関係7名 計22名  
・進行役 札幌若力会 幹事 山根 毅

#### ① 札幌若力会

- ・舟田会長 : 札幌若力会について
- ・活動報告

官本副会長：令和元年度 札幌若力会 事業紹介

（小学校測量体験学習会、札幌工業高校出前授業、札幌・小樽

建設管理部測量実務研修会、道北若力会との合同研修会 等)

② 建設マネジメント研究委員会

- ・高野委員長 : 建設マネジメント研究委員会について
- ・天野幹事長代理 : 建設マネジメント活動について
- ・建設経営小委員会 佐藤小委員長 :  
「人材確保・育成に関するアンケート照査結果と  
働きやすい職場づくり優良事例の紹介」
- ・災害対応調査 WG 矢部委員 :  
「災害対応における課題と対策について」

③ 質疑応答・意見交換・総括

- ・進行役 建設マネジメント研究委員会 幹事長代理 荒木正芳 (情報提供)  
建設コンサルタントにおける担い手の確保、人材育成、女性活躍等について  
活発な意見交換



意見交換全景

2) 現場見学会の実施

小樽道路事務所 (天野 繁所長 幹事長代理) のご厚意により、札幌若力会、道北若力会のメンバー中心に一般国道5号倶知安余市道路の見学会を実施

○札幌若力会 現場見学会

日時：令和2年2月18日(火) 14:00～17:00

参加人数：札幌若力会及び道北若力会の会員

見学場所：倶知安余市道路

- ・登川大橋A橋 (余市町)
- ・新稲穂トンネル共和工区 (共和町)

2. 各小委員会の活動

4つの小委員会、2つのワーキンググループにおいて以下のテーマについて調査・研究等を行った。

2-1 公共調達・生産システム小委員会 (講演会の開催1回)

令和元年度は、会員企業による「生産性向上への取組」及び公共調達・生産システム小委員会・技術継承WGによる「技術継承読本について」の講演会を開催した。

講演会の参加者は、小委員会メンバー及び建設マネジメント研究委員会メンバーへも参加を呼びかけた。開催概要は以下のとおりである。

- ・講演会開催概要

日時：令和2年2月19日（水）16時00分～17時40分

場所：ホテル マイステイズ札幌アспен アспенA

参加人数：60名

① 「技術継承読本」について

公共調達・生産システム小委員会・技術継承WG座長

宮坂建設工業株式会社 執行役員副社長 藏田 忠廣

② 「生産性向上への取組」

株式会社 構研エンジニアリング 技術管理部長 長沼 芳樹

## 2-2 公共調達・生産システム小委員会 技術継承WG（WGの開催3回）

### 今2-2 公共調達・生産システム小委員会 技術継承WG（WGの開催3回）

今後の業界全体としての喫緊の課題は、若手技術者の確保と安全な施工や品質低下を防止するための「技術伝承」についてどの様に推進して行くかである。当WGは、このうちの「技術継承」問題について平成28年10月から活動を開始、平成29年度は会員企業へのアンケートを実施、その結果を基に業種別、規模別の技術継承の方法や内容の特徴を分析、平成30年度は仮称「技術継承読本」の作成に向け、WG内での意見交換等を実施した。令和元年度は「技術継承読本」の各委員による執筆と校閲を完了、製本して会員企業等に配布した。会員専用ホームページにも載せている。

これをもって当初の目標を達成し令和元年度で活動を完了した。

#### WGの開催

- ・ 第一回WG（令和元年 8月 2日）：「技術継承読本」査読稿による討論。  
スケジュールの確認。
- ・ 第二回WG（令和元年10月10日）：校正刷り、装丁のチェック。  
配布先、パネル展について確認。
- ・ 第三回WG（令和2年 2月17日）：完成と配布、HP公表の報告、意見交換。  
講演内容の確認。

## 2-3 公共調達・生産システム小委員会 災害対応調査WG

### （WGの開催2回、講演会の開催1回）

平成28年8月豪雨災害時の対応とその後の復旧にあたった建設会社に対するアンケート調査と、建設会社、地質調査会社、建設コンサルタント、行政等の実務者による全6回のWGにより、当時の状況を調査し、地域の建設産業の役割の重要性を確認するとともに、災害対応の課題、対策案をとりまとめた。

令和元年度は、WG2回と講演会を開催し、とりまとめた成果を今後、普及していくための資料を作成するとともに、土木学会の建設マネジメント研究発表・討論会（12月）に検討状況を報告し、さらに論文として投稿した。WGとしての活動は以上を以て完了し、各WG委員が様々な場を活用して成果の普及を図っていく。

#### WGの開催

- ・ 第5回WG（令和元年9月4日）  
対策の具体内容の検討
- ・ 第6回WG（令和2年1月21日）  
道内建設業のBCPについての検討、成果とりまとめ

## 講演会の開催（令和元年11月13日）

- ・「岐阜における建設業広域BCMの取組について」岐阜大学 高木朗義教授

## 2-4 民間活力推進小委員会（小委員会の開催3回）

（小委員会の開催3回、視察会の開催1回）

北海道の公共施設整備への民間活力推進を目的に、民間の資金や能力を活用した事例をもとに、勉強会・研究会の一環として以下の活動を行った。

- ・七飯町視察会（令和元年9月6日）

七飯町道の駅民間活力導入プロポーザル事業で採択された男爵ラウンジと道の駅なないろ・ななえについて概要説明を受け、意見交換をした。他に北海道新幹線渡島トンネル（台場山）工事と北海道縦貫自動車道七飯町大沼トンネル避難坑西大沼工区工事の工事概要の説明を受け、建設現場を視察した。

- ・第1回（令和元年7月17日）

釧路市学校施設耐震化PFI事業と電線共同溝PFI事業についての追加調査結果報告、インフラメンテナンス国民会議「北海道フォーラム」について現状説明、北海道7空港民営化事業の優先交渉権者の選定について報告し、意見交換を実施した。

- ・第2回（令和元年11月5日）

七飯町視察会の報告と意見交換を実施した。

PPP/PFI推進首長会議の開催報告、駒岡清掃工場更新事業（DBO方式）の公告について説明し情報交換した。

- ・第3回（令和2年3月19日）

「地方都市における地域活性化住宅のスキーム実例について」積水ハウス㈱工藤様に講演を受け、意見交換を実施した。

建マネ委員会、民活小委員会設立20周年を迎えるにあたり、民活小委員会活動内容をまとめた記念冊子の発行を検討した。

また、各小委員会後には、懇談会を実施し会員の親睦を図った。

## 2-5 建設経営小委員会（小委員会開催2回）

（小委員会開催5回※内、メール開催1回）

活動テーマ「建設業及び建設関連業との情報交換、意見交換等を始め、勉強会、講習会といった活動を継続する」に基づき、

- ①際立った活動をされている企業・団体の活動調査
- ②経営の効率化のための調査

として以下の活動を実施した。

- ・R1.8.7：第1回建設経営小委員会

建設産業の担い手確保の活動に関する先進的な事例活動状況についての講話

「十勝建設産業の未来を考える会」の活動報告・活動効果について

北王コンサルタント㈱専務 石川氏、㈱ズコーシャ取締役 高橋氏

「道内各地の建設業担い手対策の具体的な取り組み」について

建設マネジメント研究委員会幹事長代理 荒木氏

- ・R1.10.2：第2回建設経営小委員会

建設産業の働き方改革に関する先進的な取り組み事例についての講話

「北海道働き方改革推進企業認定制度」ゴールド認定第1号に至る取組みについて  
㈱ズコーシャ総務部次長 小森氏

・ R1. 11. 5 : 第3回建設経営小委員会

次代の担い手である北大生（工学部国土政策学コース3年生）と懇話会を開催

話題提供：「建設業を取り巻く環境と若手の活躍」 荒木幹事長代理

若手技術者による実務状況報告：

「ICTを活用した土木工事」 岩田地崎㈱ 奥山氏

「建設コンサルタントの若手技術者の業務について」㈱ドーコン 遠坂氏

上記の講話のあと、官公庁、建設会社、コンサルの志望別に分かれ意見交換を実施

参加者：北大生41名、建マネ委員17名

※後日出席学生からアンケートの提出があり、「業界を知ることができたこと」、  
「進路を考えるためになった」など概ね好意的な意見が大半であった

・ R2. 2. 6 : 第4回建設経営小委員会

2020年の公共事業の内訳、推移、今後の展望についての講話

「2020年度公共事業の展望」 ㈱建新総合研究所 矢部氏

・ R2. 4. 6 : 第5回建設経営小委員会※メール開催

令和元年活動報告及び令和2年活動方針について

## 2-6 インフラメンテナンス小委員会（小委員会開催1回 講演会開催1回）

令和元年度は、行政の技術者を招いた講演会を1回開催した。講演会の参加者は、小委員会メンバーに限らず、建設マネジメント研究委員会メンバー全体にも参加を呼びかけた。開催概要は以下のとおり。

### (1) 第1回講演会

日時：R1年10月4日 15:30～

場所：Dec 4階大会議室

参加人数：29名

テーマ1：道路メンテナンス年報（令和元年8月）について

～橋梁・トンネル・道路付属物等の平成26年度から平成30年度までの1巡目の点検結果～

講師：北海道開発局 建設部 道路維持課 瓜生 特定道路事業対策官

テーマ2：i-Snow～除雪現場の省力化による生産性・安全性の向上に向けて～

講師：北海道開発局 建設部 道路維持課 高山 課長補佐

## 3. ホームページの更新及び掲載

総会、委員会名簿、講演会、各小委員会活動状況等内容について、都度更新を実施。

## 4. 「土木の日」協賛事業

北海道土木技術会主催の土木の日パネル展2019「北の暮らしを支える土木」（令和元年11月17～18日 札幌駅前通り地下歩行空間北大通交差点広場（東）にて開催）に、建設マネジメント研究委員会として7枚のパネルを展示し、建設マネジメント研究委員会の取組みを紹介した。



令和2年度 建設マネジメント研究委員会 パネルの展示